

History of Tohmatsu

トーマツの歩み

国内初の全国規模の監査法人として1968年に誕生。

幾多の合併、統合、連携、再編を経て、監査法人を核として成長し、監査法人を含むデロイトトーマツグループは、

現在では人員約11,000名のグループとなりました。

column 1

世界に通用する本格的な監査法人を日本に

1950年代、等松農夫蔵は、日本企業の監査が外国会計事務所に独占される未来を憂慮し、早くから欧米の監査法人に肩を並べる日本の監査法人を創設すべきだと考えていました。トーマツの経営理念の軸となっている等松が起案した「当監査法人の基本構想」には、実体験から得た強い信念と熱意が流れており、現在の法人名「トーマツ(等松)」とともに脈々と受け継がれています。

当監査法人の基本構想 ※1969年に東京事務所の創刊号に掲載

1. 当監査法人は、将来に対するヴィジョンを抱き、高遠な理想の上に結成された。
2. この理想を達成するためには、個我を脱却して大乗に附くの犠牲的精神が基本となっている。
3. 結束と統一とは欠くことのできない絶対要件である。
4. 努力研鑽を積むことは、生涯の努めである。
5. 人間的信望を高めることが何よりも肝要である。
6. 監査法人を全員の永遠の拠点ならしめることが終局的には監査法人の理想達成のための唯一の途である。

1968.5

等松・青木・津田・塚田・青木・宇野・月下部会計事務所設立



1968年5月8日 朝日新聞

1968

72名

設立10年

1978

628名

1975.5

トウシュ・ロス・インターナショナルに加盟

1972.11

ニューヨーク事務所を設立

1969.2

トウシュ・ロス サンフランシスコに第一号海外駐在員を派遣

設立20年

1988

1,153名

1986.10

(監) サンワ事務所と合併(300名増) サンワ・等松青木監査法人に名称変更



当時ニューヨーク事務所があったロックフェラー・センター

1989

デロイト・ハスキング&セルズとトウシュ・ロスの国際組織が合併、国際名称をデロイト ロス トーマツ インターナショナルに変更



2つの国際組織のCEOが来日 トーマツの会長(中央)とともに



1986年当時の受付の看板(東京)

1997

国内事務所20カ所、海外拠点50都市達成

1993.4

トーマツコンサルティング(株)設立 ※現デロイトトーマツ コンサルティング(同)

1990.2

(監) 三田会計社と合併(100名増) 監査法人トーマツに名称変更

設立30年

1998

2,829名

2001.12

八重洲オフィスをオープン

2001.6

デロイトトーマツ ファイナンシャル アドバイザリーサービス(株)設立 ※現デロイトトーマツ ファイナンシャル アドバイザリー(同)

設立40年

2008

6,841名

2007.8

みずす(監) から移籍(410名増)

2002.5

日本各地の提携税理士事務所を統合し、税理士法人トーマツ設立 ※現デロイトトーマツ税理士法人

2015.4

DT弁護士法人がデロイトトーマツグループに参画

2014.4

デロイトトーマツ合同会社設立 品川オフィスをオープン



品川オフィス(2016年6月)

設立50年
2018

2017

10,950名

2009.7

有限責任監査法人に移行し、法人名称を「有限責任監査法人トーマツ」に変更

column 2

国際組織との半世紀の絆

トーマツは設立以来、同じ国際組織との関係を半世紀近く継続しています。1989年に2つの国際組織が合併し、名称「デロイト ロス トーマツ インターナショナル」に変更しました。国際組織にアジアのファーム名が刻まれるのは画期的で、史上初のことでした。トーマツは加盟当時からDTTの運営に参画し、深い信頼関係を培っています。現在、トーマツがメンバーファームとなっている国際組織であるDTTLにおいても、トーマツの公認会計士が運営メンバーとして活躍しています。



ウィリアム・W・デロイト

ジョージ・A・トウシュ

等松 農夫蔵

トーマツからの就任中の主要ポジション(2017年6月1日現在)

Board of Directors(グローバルのガバナンスを担当):メンバー2名

Executive Committee(グローバルの執行を担当):メンバー1名

Global Managing Director for Asia Pacific:アジア太平洋地域 代表

Global JSG(日系企業サービス組織):共同代表(Co-Chairman)